



寄稿者

Margaret A Hawthorne

ジョンズ・ホプキンス・ブルームバーク公衆衛生大学院（メリーランド州ボルティモア）の国際たばこ規制研究所・疫学部研究データ解析官。

Lindsay M Hannan

米国対がん学会（ジョージア州アトランタ）疫学・調査研究学科疫学者。

Isabel Mortara

国際対がん連合（UICC）（ジュネーブ）エグゼクティブ・ディレクター。

Sylviane Ratte

国際対結核および肺疾患連合（パリ）たばこ規制技術顧問。

Michael J Thun

米国対がん学会（ジョージア州アトランタ）疫学・調査研究学科部長。

Jonathan M Samet

ジョンズ・ホプキンス・ブルームバーク公衆衛生大学院（メリーランド州ボルティモア）世界たばこ規制研究所所長、同大学疫学部教授。喫煙および健康に関する2004年と2006年の公衆衛生総監報告書の上級科学編集者。

Witold Zatonski Maria

Skłodowska-Curie Memorial Cancer Centre and Institute of Oncology（ワルシャワ）疫学・がん予防学科部長。

UICC について

UICC は地球規模でがん制圧を専門とする主導的な国際的非政府組織である。UICC のビジョンは未来の世代において、がんが重大な生命を脅かす疾患ではなくなる世界をつくることである。

UICC の活動は、知識や能力の共有や交換、診療所、患者および公衆の環境への科学的知見の普及、予防における不平等を組織的に減らし消滅させること、早期発見・早期治療、そして世界中でがんと共生している人々に最良のケアを提

供する世界的ながん制圧コミュニティを作り上げ、導くことである。

UICC には、ボランティア組織であるがん同盟および学会、研究および治療センター、公衆衛生当局、患者支援ネットワークや支援グループ、幾つかの国では保健省など、幅広い組織が集まっている。90 を超える国々の 290 のメンバー機関は、UICC の活動の源であり、変革のために上げる声でもある。

UICC の年間予算は会費、出版物の印税、がん学会、基金、政府機関、企業および個人からの限定的および制限のない補助金ならびに寄付で支えられている。

UICC の活動を支援するには、ホームページ (www.uicc.org) を参照してください。